

第24回

全国俳句大会 in 北九州

～久女を育み、多佳子を生んだ俳句の地～

入賞作品集

目 次

- 大会概要 P 2
- 選者紹介 P 3
- 入賞作品（事前投句） P 4
- 入賞作品（当日投句） P10
- 吟 行 P16
- 当日投句受付 P17
- 俳句大会・講演 P18
- 表彰式 P19

実行委員会委員

名誉会長	武内 和久	北九州市長
会 長	近藤 晃	（公財）北九州観光コンベンション協会専務理事
副 会 長	福本 弘明	北九州俳句協会会長
副 会 長	井上 保之	北九州市都市ブランド創造局長
委 員	岸原 清行	福岡県俳句協会顧問
委 員	大河内哲子	北九州市女性団体連絡会議会長
委 員	今川 英子	北九州市立文学館館長
監 事	久末 隆彦	久女・多佳子の会会長

主 催

北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会、
全国俳句大会in北九州実行委員会

後 援

(公社)日本伝統俳句協会、(公社)俳人協会、(一社)現代俳句協会、角川「俳句」、(株)文學の森、国際俳句協会、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会、北九州俳句協会、北九州市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞北九州支局、時事通信社北九州支局、(一社)共同通信社福岡支社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、KBC、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、テレQ

(順不同)

大会概要

日時 令和7年2月28日(金)～3月1日(土)

会場 北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区浅野 3-9-30)他

開催プログラム

2月28日(金)

10:00～15:00 吟行ツアー「若松“緑黄色”ツアー～とまと狩り&グリーンパーク散策」

15:00～17:00 当日投句受付

3月1日(土)

8:30～10:00 当日投句受付

9:00 大会受付開始

10:00～12:00 講演会アーカイブ動画を上映(11会議室)

・西村和子先生「女性の時代」

・相田一人氏「言葉・コトバ・ことばはチカラ

～父・相田みつをの書と言葉～」

12:00 イベントホール開場

13:00 開会(主催者あいさつ他)

13:10～14:10 講演会

(講師) 神野 紗希 氏(現代俳句協会 常務理事)

(演題) 「弱いままで、ありのままで
俳句と多様性」



神野 紗希 氏

休憩

14:25～15:45 「事前投句の部」表彰式、講評

「当日投句の部」表彰式、講評

15:45～16:00 抽選会

閉会

選者紹介

※50音順・敬称略



いまい しょうこ
今井 肖子

昭和29年 神奈川県生まれ
昭和53年 津田塾大学学芸学部数学科卒業
平成12年 母・千鶴子の手ほどきで俳句を始める
平成13年 稲畑汀子に師事、「ホトトギス」、社団法人日本伝統俳句協会に入会
平成15年 第14回日本伝統俳句協会新人賞受賞
平成17年 第16回日本伝統俳句協会賞受賞
平成20年 「ホトトギス」同人句集「花もまた」
その他 公益社団法人日本伝統俳句協会評議員
公益社団法人虚子記念文学館評議員
愛媛新聞いよかぜ俳壇選者



おがわ はるこ
小川 晴子

昭和21年 千葉市生まれ
立教女学院高校を経て、聖心女子学院英語専攻科卒業
昭和41年 英国聖心に留学
祖母・中村汀女、母・小川濤美子に師事
平成17年 第一句集「花信」
「風花」副主宰
平成24年 第二句集「摂津」
世田谷区俳句連盟会長
平成29年 「今日の花」主宰
令和元年 第三句集「今日の花」
令和5年 第四句集「楳もり」
句集 「花信」「摂津」「今日の花」「楳もり」
その他 公益社団法人俳人協会評議員
公益社団法人日本文藝家協会会員
「三越カルチャーサロン」講師
「朝日カルチャー」講師



こうの さき
神野 紗希

昭和58年 愛媛県生まれ
高校在学中より俳句を始め、第4回俳句甲子園 団体優勝
平成14年 第1回芝不器男俳句新人賞 坪内稔典奨励賞受賞
お茶の水女子大学文教育学部卒業後、同大学院修士課程修了、博士課程単位取得満期退学
令和元年 第34回愛媛出版文化賞大賞受賞
第11回桂信子賞受賞
句集 『星の地図』『光まみれの蜂』『すみれそよぐ』
その他 一般社団法人現代俳句協会常務理事
日本経済新聞・信濃毎日新聞俳壇選者



てらい たにこ
寺井 谷子

昭和19年 福岡県小倉市(現北九州市)に生まれ、10歳より俳句を始める
昭和41年 明治大学文学部演劇学専攻卒業。「自鳴鐘」編集に携わる
平成4年 第39回現代俳句協会賞、北九州市民文化賞を受賞
平成14年 「NHK俳壇」選者
平成19年 「自鳴鐘」主宰
平成28年 第7回桂信子賞を受賞
平成29年 第16回山本健吉賞を受賞
令和6年 第24回現代俳句大賞受賞
句集 「笑窪」「以為」「街・物語」「未来」「人竇」「母の家」「夏至の雨」
エッセイ・評論 「四季を見る」「紙の碑」「俳句の海へ 言葉の海へ」
その他 一般社団法人現代俳句協会特別顧問
公益社団法人日本文藝家協会会員



にしむら かずこ
西村 和子

昭和23年 神奈川県生まれ
昭和41年 慶応義塾大学文学部入学後、慶大俳句に所属し、清崎敏郎に師事
昭和59年 第7回俳人協会新人賞受賞
平成8年 行方克巳と「知音」創刊句集「心音」により第46回俳人協会賞受賞
平成19年 句集 「夏帽子」「窓」「かりそめならず」自註「西村和子集」「心音」「鎮魂」「季題別 西村和子句集」「椅子ひとつ」「自句自解ベスト100」「わが桜」
著書 「虚子の京都」第19回俳人協会評論賞受賞
「添削で俳句入門」「季語で読む源氏物語」「俳句のすすめ―若き母たちへ―」「季語で読む枕草子」「気がつけば俳句」「季語で読む徒然草」「清崎敏郎の百句」「自由切符」
その他 公益社団法人俳人協会副会長
公益社団法人日本文藝家協会会員



入賞作品（事前投句）

■ 全国俳句大会 in 北九州大賞

蓑虫と違ふ孤独の中にある

（大分県 大分市）

阿部 正調

今井肖子 先生 特選
小川晴子 先生 入選

◆ 受賞者の声

以前に孤独の疑似体験を詠んだこともありましたが、実際に妻を失い、兄妹を全部亡くした喪失感、人には言えぬ寂しいものがあります。

先師「倉田絃文」氏の「行ける所まで行かねばなりません」の遺訓を大切に、俳句の高みをめざし、今後も俳句に関わって行くつもりです。

入賞の栄を賜り、厚く感謝申し上げます。

■北九州市長賞

多佳子忌や母の形見の盲縞

(熊本県 宇土市)

田代 幸子

小川晴子 先生 特選
今井肖子 先生 入選

◆受賞者の声

この度は、身に余る賞を頂き誠に有難うございました。先日、中村汀女顕彰俳句大会で、特選を頂き感激したばかりでございました。私は永年、日本舞踊を習って居りましたので、着物を着る事が日常でした。母の形見の帯を締めて舞台で踊ったのも今では懐かしい思い出です。これからも、女性らしい視点で俳句を詠むつもりです。

今井 肖子 選

特 選 (三句)

薰風や拳ゆるめて子の眠る

(神奈川県 横浜市)

多田 学友

【選評】

その拳はさつきまで強く握りしめられていたのでしょうか。駄々をこねて振り回していたのか、うつむいて涙をこらえていたのか。少し汗ばんだまま、今は静かな寝息を立てて眠る子に初夏の風が吹き抜けていきます。薫風が心地よく働いていますね。

蓑虫と違ふ孤独の中にある

(大分県 大分市)

阿部 正調

【選評】

蓑虫に自らの孤独をなぞらえる句は見かけますが、この作者は自由な世界において閉じ込められている孤独とは別の孤独を感じているのです。孤独の中、という表現に心情が静かに滲み、蓑虫に注がれる優しい視線も感じさせる一句です。

青空の続きに戦風花来

(福岡県 北九州市)

川澤 紀子

【選評】

澄みきった青空を仰ぐとき、この空は戦禍に見舞われている彼の地へつながっている、と感じるとするのは誰にもあることでしょう。そんな青空をふと舞い降りて来た風花が、戦地から飛来した悲しみのかけらのように思えた作者なのかもしれない。

入 選 (十二句)

念力の他に術なき猛暑かな

(福岡県 北九州市)

川口 昌

我が骨は真白に非ず山眠る

(福岡県 福岡市)

江守 宏二

天心へ光渦巻く鷹柱

(福岡県 北九州市)

西原 洋子

小春日やふらりと父は天国へ

(東京都 墨田区)

三井 千賀子

野ねずみのちよこんと座る良夜かな

(福岡県 福岡市)

江守 宏二

喝采のような雨去り窓の秋

(福岡県 北九州市)

古賀 嘉壽子

つなぎたる子の手のしめり蝶の昼

(福岡県 北九州市)

坂井 愛子

多佳子忌や母の形見の盲縞

(熊本県 宇土市)

田代 幸子

地球儀を拭きて廻して十二月

(和歌山県 和歌山市)

中筋 のぶ子

雪吊や水底へ空引き絞り

(東京都 中野区)

佐貫 亜美

寒波跳び箱の空洞にも潜む

(福岡県 北九州市)

増本 加津子

どの顔も笑って春の泥つけて

(栃木県 宇都宮市)

斎藤 光星

小川 晴子 選

特選 (三句)

重い海さめどめと暮れ能登の秋

(大分県 大分市) 薬師寺裕二

【選評】

能登地方は昨年一月の大地震、九月の大雨で被災されて復興途上の辛い日々を送られています。月日はすでに秋になり、横たわる海、寄せる波は何事も無かったようでありますが、そこに住む方の胸の内は思い測ることの出来ない悲しみがあります。

寒北斗停戦向けて杓立てり

(福岡県 北九州市) 中村 綾子

【選評】

世界中は戦火の絶えない数年です。「杓立てり」に停戦を願う強い思いと希望が伝わります。中国の神話では北斗七星は死、南斗六星は生を司るといわれてるそうです。斗柄(とへい)に当る第七星を古来から時を測ったそうです。

多佳子忌や母の形見の盲稿

(熊本県 宇土市) 田代 幸子

【選評】

多佳子忌は五月二九日です。多佳子の作風は華麗で情感豊かなものです。母上が愛用された木綿平織物の形見の着物を大切にしている作者の心情が伝わってきます。

入選 (十二句)

玄海の青き空衝く鷹柱

(福岡県 直方市)

山内 博子

白秋忌猫のすり寄る船着場

(熊本県 熊本市)

若松 節子

布石打つごと玄海へ鴨一羽

(愛知県 一宮市)

佐藤 美恵子

子におやつきつと汀女は焼きりんご

(東京都 葛飾区)

目黒 琴音

噴火鳴る寝釈迦も村も深眠り

(千葉県 松戸市)

宮都 讓

村岸の時雨に滲む馬関の灯

(福岡県 直方市)

西尾 昭二

雪形や富士は無限の砂時計

(東京都 福生市)

石川 定雄

フフフと日傘さし行く女学生

(福岡県 遠賀町)

花田 京次

糞虫と違ふ孤独の中にある

(大分県 大分市)

阿部 正調

仏足石くすぐりに来る春の風

(東京都 世田谷区)

花土 公子

秋光を撥ね窺出しの陶の艶

(福岡県 直方市)

西尾 昭二

もう言葉いらぬと能登の鯛起し

(東京都 世田谷区)

山下 清実

神野 紗希 選

特 選 (三句)

貝文といふものありし頃の秋

(宮崎県 延岡市) 森山 淳子

【選評】

貝文とは、縄文時代草創期の土器につけられた貝の模様です。縄文の人は何を思つて模様をつけたのでしょうか。貝を拾つた水は、ひんやりと澄んでいたでしょうか。遙か縄文の秋を思えば、この秋のあれやこれやも素朴に澄み渡ります。土の気配を介して今と過去が豊かに繋がる、大らかな一句です。

陽炎を子亀がひよいと啗んでいる

(神奈川県 横浜市) なつはづき

【選評】

曖昧模糊とした陽炎を、亀の子が軽やかに啗っている、楽しく想像を広げました。陽炎の噛み心地つて、どんなでしょう。人間の知り得ないことも、言葉の力で引き寄せられるのが、俳句の面白さです。子亀を介して陽炎も生々しく感じられ、子亀の命もまたきらりと閃きます。

芝の露きらり羊蹄山ずしん

(東京都 世田谷区) 菊田 和音

【選評】

きらり、ずしん、オノマトペを用いて対句の形をとり、大景をリズムよく軽快にまとめました。芝の葉先に宿る露の輝き、北海道の秋の空気の澄みよう、羊蹄山の存在感。極小の露と極大の羊蹄山の対比も、大胆に一句の構図を広げます。世界を受け止めたオリジナルな感覚が光ります。

入 選 (十二句)

囁きに子音夥しき秋思

(東京都 練馬区)

猪俣ま悠

里芋や円空仏のごと丸し

(愛媛県 松山市)

岸田 慶

クレソンや水底の渦透き通り

(愛媛県 松山市)

松井 洋子

介護福祉士の今宵は月を抱きて寝ぬ

(山口県 山口市)

上田 千鶴子

世渡りが下手で十一月が好き

(福岡県 福岡市)

江守 宏二

蘭の根の立ち上がりたる秋暑かな

(愛媛県 松山市)

松井 洋子

托鉢のキックボードの足袋白し

(福岡県 北九州市)

藤原 しょうこ

子守宮の寝呆け眼のつぶらなる

(福岡県 宗像市)

和田 秀子

拉麺の縁に立つ海苔いなびかり

(神奈川県 川崎市)

大西 主計

門司に来て戻る寒さや焼カレー

(福岡県 福岡市)

高山 國光

頬撫でし月夜の風やぬちぐすい

(山口県 下関市)

井手野下 耕治

ガザの子も目覚めてゐるか朝寒し

(熊本県 熊本市)

若松 節子

西村 和子 選

特選 (三句)

冬帽子深く被りて阿らず

(大分県 大分市)

草乃

祭

【選評】

寒いから深く被って身を守っているのだが、それだけでないものを心の内にかかえている。人にも世の中にも阿らないという姿勢は、確固たる自分の生き方があってこそ。具体的に描写した上で、精神性をも描き出し、季語が多く語っている作品です。

鳥の声半音上がり春めける

(東京都 世田谷区)

林

奈津子

【選評】

春の気配を聴覚で捉えた句。しかも半音という微妙な違いを聞き分けた鋭敏な感覚の持ち主です。まだ本格的な春になったわけではない季節の変わり目を、いちはやく感じた喜びが伝わってきます。まわりの風景も人々の動きも春の兆に満ちています。

鈍色の雲の襞より白鳥来

(埼玉県 上尾市)

萩原

陽里

【選評】

まさに白鳥の第一陣が空の彼方から飛来した瞬間を描いた句。実際に目にしたことで生まれたものでしょう。句の前半に現実感がある。頭の中でこしらえると、もっと美しい色や輝いた空になりそうです。「白鳥来」という季語の輝きに全幅の信頼を寄せた作品です。

入選 (十二句)

名を呼ばれ一年生の顔になる

(徳島県 徳島市)

新居 三和

玄海の風を突つ切り初燕

(大分県 佐伯市)

吉武 厚男

人の訪ふ声に零るる金木犀

(愛媛県 松山市)

松井 洋子

防人の海や寒雁こゑ落とし

(東京都 千代田区)

鈴木 綾子

断崖の洞に轟く土用波

(福岡県 久留米市)

附出 勇人

毛糸編む入院前のつづき編む

(福岡県 川崎町)

坂本 祥子

縁側に散らばる絵本小鳥来る

(福岡県 北九州市)

川澤 紀子

還らざる軍馬百万秋の潮

(福岡県 北九州市)

宮崎 よし子

道づれはわが影ばかり冬へんろ

(愛媛県 松山市)

井上 由美子

跳ね橋の上がり冬帝迎へけり

(東京都 千代田区)

鈴木 綾子

また道をたづねられたり小六月

(東京都 豊島区)

松枝 真理子

身に鎧ふものゆるびゆく日向ぼこ

(福岡県 岡垣町)

岸原 邦代

入賞作品（当日投句）

■ 全国俳句大会 in 北九州大賞

初蝶来未来見てゐる少年へ

（滋賀県 栗東市）

小野 雅子

今井 肖子 先生 特選
小川 晴子 先生 特選
西村 和子 先生 入選

■ 北九州市長賞

百のふらこっこ曇天を蹴り上げん

（東京都 世田谷区）

菊田 和音

今井肖子 先生 特選
神野紗希 先生 特選

今井 肖子 選

■ 特 選 (二二句)

初蝶来未来見てゐる少年へ

(滋賀県 粟東市)

小野 雅子

【選評】

オオゴマダラが乱舞する生態園で、蝶が少年に寄って行くのを目にした作者。温室の景を俯瞰的に捉えたところが巧みで、初蝶という季題が希望に満ちた未来を感じさせます。

百のふらここ曇天を蹴り上げん

(東京都 世田谷区)

菊田 和音

【選評】

吟行で訪れたグリーンパークにある百のぶらんこ。青空ではなく霞んだ曇り空だったからこそできた句。それを蹴り上げる感覚が勢いを感じさせてふらここの句としておもしろいです。



■ 入 選 (八句)

月さしてより匂ひ立つ雛の間

(福岡県 久留米市)

菅野 奈都子

金色の模を纏いて蝶眠る

(福岡県 北九州市)

上村 たか子

つちふるや輸入ワインに知らぬ文字

(宮崎県 延岡市)

森山 淳子

浅春やなほ青臭きトマトの葉

(福岡県 福岡市)

宇野 則子

万の枝万のトマトの灯りたる

(東京都 中野区)

佐貫 亜美

のどけしやカピバラの頬びくびくと

(東京都 世田谷区)

菊田 和音

カピバラもちょうちよも息をしているよ

(東京都 国分寺市)

神野 純

ピラニアの顔は扁平春の昼

(東京都 世田谷区)

菊田 和音

小川 晴子 選

■ 特 選 (二句)

春愁のカピバラ吾をちらと見し

(東京都 中野区)

佐貫 亜美

【選評】

吟行は瞬間も大事で捉え方は人それぞれ。地面に寝そべっているカピバラが眼だけ動かしてこちらを見た瞬間の驚きが伝わってきます。季語の「春愁」が持つ物憂げな雰囲気がかピバラの様子を増しています。

初蝶来未来見てゐる少年へ

(滋賀県 栗東市)

小野 雅子

【選評】

初蝶来という初々しさと少年のきらきらした瞳が、未来への希望や命の賛美のようなものを感じさせる良い句です。生まれたばかりの蝶の舞う温室を見る9才の少年の姿は印象的でした。



■ 入 選 (八句)

初蝶の蜜を吸ふより水を吸ふ

(福岡県 北九州市)

上月 ひろし

ストローを立てては仕舞ふ蝶日永

(福岡県 北九州市)

川 澤 紀 子

落椿つまむ指先うち湿り

(滋賀県 栗東市)

小 野 雅 子

初蝶に高くは飛べぬ訳をきく

(福岡県 福岡市)

渋 田 千 々 穂

翅折れし蝶の痛みに触れてみる

(福岡県 福岡市)

渋 田 かおる

蜜の香にくすぐられ吾も蝶と化す

(山口県 下松市)

中 川 房 子

マダラ蝶蛹の金色ゆるり脱ぎ

(福岡県 北九州市)

木 邑 杏

陽春の彩る房やトマト狩り

(福岡県 福岡市)

塚 本 泰

神野 紗希 選

特 選 (二二句)

カメレオン見て耳鳴りの止みし春

(宮崎県 延岡市) 森山 淳子

【選評】

人間の気持ち解らなそう顔のカメレオン。その異質な感じや他者性に驚くことで、体の中の滞った何かが消えていくような感覚、不思議と腑に落ちました。目の前の偶然をそのまま書き留めたことでリアリティが生まれた句です。

百のふらここ曇天を蹴り上げん

(東京都 世田谷区) 菊田 和音

【選評】

この世界のあちこちで子どもたちがぶらんこを漕いで曇天を蹴り上げようとしている…そこに今の時代を打開してくれる秘めたエネルギーを感じます。吟行で行った場所を知らなくても百のぶらんこの持つ力を感じる句でした。



入 選 (八句)

浅春やなほ青臭きトマトの葉

(福岡県 福岡市) 宇野 則子

逢いにゆく日向ひろげて花ミモザ

(福岡県 北九州市) 芳賀 登喜子

ピラニアの顔は扁平春の昼

(東京都 世田谷区) 菊田 和音

亀鳴けば歩き出すかもタビビトの木

(福岡県 北九州市) 元田 品子

9歳は青春未満青き踏む

(東京都 墨田区) 三井 千賀子

春愁やパイプ鉄錆ぶ麿高炉

(東京都 世田谷区) 菊田 和音

鞆や子を平等に愛せずに

(長崎県 長崎市) 平田 素子

鈴懸の花匂ふ街橋の街

(福岡県 北九州市) 吉富 莞峰

西村 和子 選

■ 特 選 (二二句)

カピバラの鼻に餌屑春の昼

(福岡県 遠賀町)

石松 昌子

【選評】

鼻に餌屑を付けて眠っているのか、活発には動いていないけれどカピバラの暖かい存在そのものが描かれている句。「春の昼」のどこかでゆったりとした情景が伝わってきます。

農園の匂ひあまやか春の雨

(東京都 中野区)

佐貫 亜美

【選評】

園が実りの時を迎え、湿気のせいで匂いが甘やかに感じたのでしょうか。「春の雨」という季節がとても効いていると思います。雨が降っても俳人に「あいにく」はなく、吟行は出会いが大事だと思いました。



■ 入 選 (八句)

閑門の黙を深めし靈ぐもり

(福岡県 北九州市)

吉 富 莞 峰

初蝶来未来見てゐる少年へ

(滋賀県 栗東市)

小 野 雅 子

遠山も玄界灘も霞みけり

(東京都 稲城市)

山 崎 茉莉花

また同じ曲流れをり春の園

(東京都 豊島区)

松 枝 真理子

北窓を開け農園の客迎へ

(福岡県 北九州市)

上 月 ひろし

剪定の背に背に園の楽流れ

(東京都 狛江市)

横 山 万 里

つちふるや輸入ワインに知らぬ文字

(宮崎県 延岡市)

森 山 淳 子

古びたる駅の電燈春の宵

(東京都 世田谷区)

林 奈津子

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

2月28日(金) 10:00~15:00

吟行「若松“緑黄色”ツアー ~とまと狩り&グリーンパーク散策」



2月28日(金) 15:00~17:00、3月1日(土) 8:30~10:00

当日投句受付



3月1日(土) 10:00~12:00

講演会アーカイブ動画上映



大会選者



今井 肖子 先生



小川 晴子 先生



神野 紗希 先生



西村 和子 先生

3月1日(土) 13:00~16:00

俳句大会

開会にあたり、実行委員会の近藤会長からご来場の皆様に歓迎の挨拶がありました。

大会では、現代俳句協会常務理事の神野紗希氏による講演会の他、「事前投句の部」「当日投句の部」それぞれの表彰式と選者選評が行われました。



会長挨拶



実行委員会会長
近藤 晃

講演

- 講 師 神野 紗希 氏 (現代俳句協会 常務理事)
- 演 題 「弱いままで、ありのままで 俳句と多様性」



表彰式



「事前投句の部」市長賞受賞
田代 幸子さん



「当日投句の部」大賞受賞
小野 雅子さん



「当日投句の部」市長賞受賞
菊田 和音さん



「事前投句の部」 特選受賞の皆様



「当日投句の部」 特選受賞の皆様

協賛企業・団体



〒802-0041 北九州市小倉北区妙見町17-2
TEL 093(921)2292 FAX 093(921)2259
<http://www.myouken.or.jp>
e-mail : info@myoken.or.jp

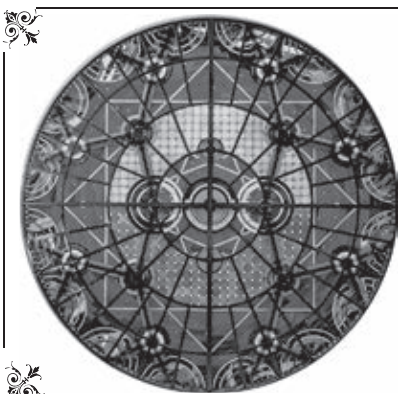


株式会社 オービット



学術会議運営、イベント企画・運営、各種機材レンタル、WEB

〒806-0067 北九州市八幡西区引野1-5-31-101
tel.093-616-1417 fax.093-616-1418



北九州市立文学館

北九州ゆかりの文学者や分野別の文学の流れ、現在活躍する作家など、約250点の資料を展示。

- 開館時間 / 午前9時30分～午後6時（入館は5時30分まで）
- 休館 / 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）
- 料金 / 一般 240円、中高生 120円、小学生 60円

北九州市小倉北区城内 4-1 TEL093-571-1505

● event total produce ■

 KENBI CO.,LTD.

北九州市戸畑区沖台 1 丁目 3-8 TEL093-882-9404
www.kenb.co.jp



タクシーのご用命は

小倉交通株式会社

総合配車センター 代表 093(541)0286

093(541)0007 FAX 093(541)1748

TAIYO SOUBI

イベントのあれこれ解決します。

イベント企画・会場設営・看板製作

大洋装備株式会社

[本社] 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町72-3
TEL 093-571-2739・FAX 093-571-2747
URL : <http://www.taiyosoubi.com>

和やかに健やかに
放課後等デイサービス
希のぞみ

保育士 児童指導員 支援スタッフ募集中
新卒、第二新卒、未経験者も大歓迎!
お気軽にお問い合わせください。

放課後のぞみ

放課後等デイサービス利用者さんを募集中です。
お問い合わせの上、是非見学にお越しください。

〒800-0257 福岡県北九州市小倉南区湯川1丁目8番9号
TEL093-967-9927
<https://nozomi.care/>

検索

国内旅行、海外旅行のお問合わせは当社で

 **名鉄観光** サービス株式会社 **北九州支店**

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町 1-10-10
大同生命北九州ビル 8階

TEL 093-512-7755 FAX 093-512-7757

WEBから簡単便利に世界へ
旅pad

メールアドレス kitakyushu@mwt.co.jp

ホームページ <https://www.mwt.co.jp/>



 **YOSHIMI**
KOHSAN CORPORATION

<http://www.e-yoshimi.jp>



印刷のことならよしみ工産にお任せ下さい!

企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績でお客様に満足をご提供いたします!

よしみ工産株式会社 〒804-0094 福岡県北九州市戸畑区天神1丁目13番5号
☎(093)882-1661 FAX(093)881-8467

■東京営業所 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目26番1号 本郷宮田ビル3階

☎(03)5802-5601 FAX(03)5802-5603
■福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目23番28号

☎(092)481-9559 FAX(092)481-9966

街のランドマーク リーガロイヤルホテル小倉

開業以来初的大幅リニューアル

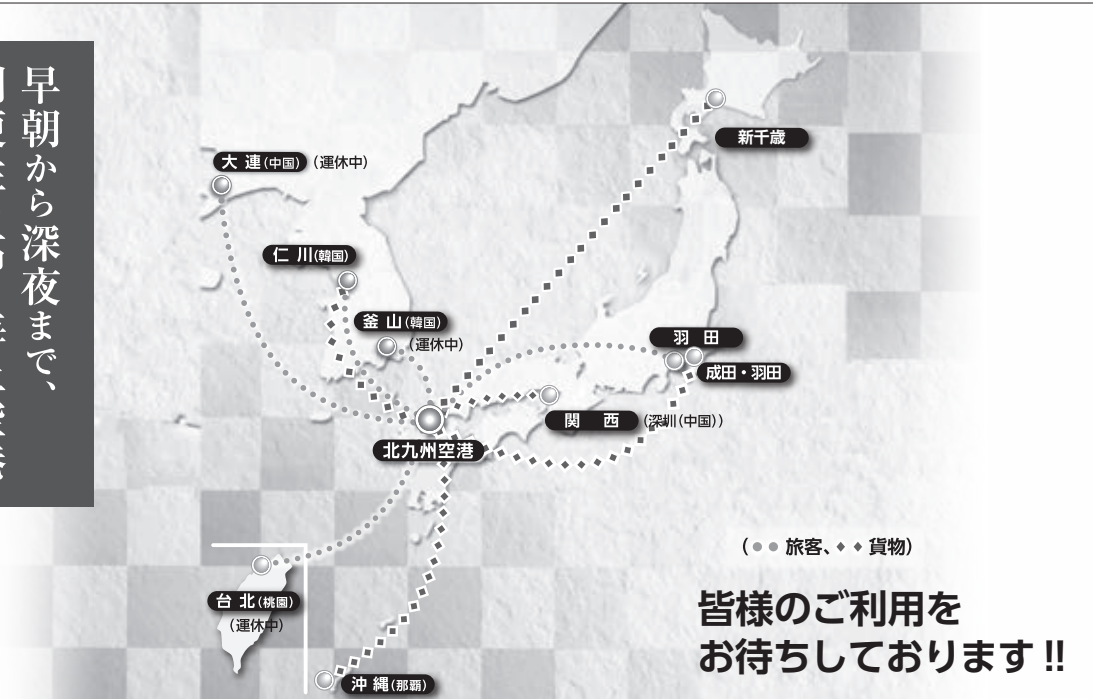
豊かな経験とおもてなしの心を大切に非日常のひとつときを演出します。

 **リーガロイヤルホテル**
小倉

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目14-2 ☎093-531-1121 (代表)



早朝から深夜まで、
利便性の高い海上空港



皆様のご利用を
お待ちしております!!



北九州空港
KITAKYUSHU AIRPORT

北九州エアターミナル株式会社

〒800-0306 北九州市小倉南区空港北町6番

TEL 093-475-4195 FAX 093-475-1304 <https://www.kitakyu-air.jp>



ボートレース
小倉けいりんと若松の収益金は
市民の皆さまの暮らしに役立っています



Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

(公財)北九州観光コンベンション協会

会議・大会・展示会等のイベントを幅広くサポート

「国際コンベンションゾーン」として位置付けられている小倉駅新幹線口地区には、各種コンベンション施設が集積しています。その中でも、西日本総合展示場・北九州国際会議場は、JR小倉駅と直結した絶好のロケーションにあります。当協会では会議、大会、見本市、展示会、イベントなどコンベンション全般の企画から運営までをサポートします。



展示場・会議室のご案内

10～585名までの会議にご利用いただけます。
200㎡～15,000㎡までの展示会にご利用いただけます。
展示場・会議室のご用命はサービス課へ。



北九州国際会議場/メインホール



西日本総合展示場 新館/展示場



AIM 3F/展示場



AIM 3F/会議室

●お問い合わせ・ご予約……………
(公財)北九州観光コンベンション協会
サービス課

TEL:093-541-5931
FAX 093-541-5928

観光・修学旅行、さらにはお土産までサポート



～観光情報サイト～ <https://www.gururich-kitaq.com>



北九州ならではの逸品がめじろ押し!

●北九州観光市場
<https://kcta.jp>



●お問い合わせ先 (公財)北九州観光コンベンション協会

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 FAX:093-521-8845
<https://www.hello-kitakyushu.or.jp>

tel 093-511-6848 (代表)

